

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭57—130543

⑮ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 昭和57年(1982)8月14日

H 02 J 3/00

6959—5G

H 02 H 3/033

7627—5G

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑰ 過負荷防止制御装置

⑱ 考 案 者 甲斐紋一

海老名市門沢橋647番地北谷電
機工業株式会社内

⑲ 実 願 昭56—16676

⑳ 出 願 昭56(1981)2月10日

㉑ 出 願 人 北谷電機工業株式会社

㉒ 考 案 者 北谷晴亮

海老名市門沢橋647番地

海老名市門沢橋647番地北谷電
機工業株式会社内

㉓ 代 理 人 弁理士 山内梅雄 外 1 名

㉔ 実用新案登録請求の範囲

共通の電源に接続される複数の電気機器についてこれらの間で電源の使用について複数段階の優先度を設定する手段と、前記電源が前記複数の電気機器の使用状態により過負荷もしくはこれに近い状態となつたときこの状態が解消するまで優先度の最も低い段階の電気機器から順にこの電源から切り離す手段とを具備することを特徴とする過

負荷防止制御装置。

図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を説明するために過負荷防止制御装置を組み込んだパワーレベリングシステムを表わしたシステム構成図である。

6 ……メータスイッチ、RL 1～RL 6 ……リレー、L 1～L 3 ……負荷、rl ……リレーの接点。

